



©2005 石塚真一小学館

第 293 号(令和5年(2023 年)2月 22 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

県内では、2月2週目に2件、2月3週目に2件の遭難が発生しました。4件中3件がバックカントリーによる遭難でした。週末を中心に、バックカントリーを滑走中に転倒する遭難が続いて発生しています。

本年に入り、県内では 29 件の遭難(2月 19 日現在)が発生し、前年同期比プラス 10 件と増加傾向にあり、うちバックカントリーにおける遭難は 10 件発生しています。

バックカントリーで多い遭難は、「道迷い」「雪崩」「転倒・滑落」「立木に衝突」です。

バックカントリーエリアは、管理されたスキー場内と違い自然の山中を滑走するため、スキー場では味わえない開放感や非圧雪、非整備の斜面を滑走できることが魅力的です。一方で、立木や岩への衝突リスクが高く、転倒した場合には、滑落や雪崩を誘発して巻き込まれる等の様々なリスクがありますので、地形、気温、雪質、前日までの積雪量等、高度な判断が求められます。

雪崩による遭難も発生しています。県内各地では、降雪後に気温の上昇や降雨になるなど、安定しない天候が続いており、雪崩のリスクが非常に高まっています。

登山においても、標高が高い山域では、積雪量が増加しているため、登山中に深い新雪に埋もれた場合には、自己脱出が困難になる場合があります。また、稜線では猛烈な吹雪により視界がなくなってしまう、いわゆるホワイトアウトになることもあります。

冬山ではささいな準備不足や判断ミスが致命的な遭難につながります。登山やバックカントリースキー・スノーボードを計画されている方は、自身や仲間の体力・技術に見合った計画を立てるとともに、これらのリスクを認識し、事前にルートや入山前の天候、積雪状況等について下調べを行い、雪崩等のリスクを回避する行動を心掛けてください。

入山直前にも気象情報を必ず確認し、悪天候の場合には、入山の延期または中止をしましょう。

また、万が一に備えて、雪崩対策装備(ビーコン・プローブ・ショベル)とともに、ツェルト、防寒具、着替え、ストーブ、非常食等ビバークできる装備を携行し、複数人で入山しましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
2月6日	横手山	男	47	無事救出	その他	単独でスキー場管理区域外を滑走中、深雪により、行動不能
<p>2月6日、志賀高原の横手山スキー場外において、スノーボードでバックカントリー滑走をしていたニュージーランド国籍の男性(47歳)が、雪が深く身動きが取れなくなる山岳遭難が発生し、志賀高原地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。</p>						
2月11日	北安曇郡 小谷村地籍 虫尾沢	男	50	負傷	転倒	6人パーティでバックカントリーを滑走中、転倒、負傷
<p>2月11日、北安曇郡小谷村の虫尾沢において、6人でバックカントリーをスノーボードで滑走していた男性(50歳)が転倒し、負傷して行動不能となる山岳遭難が発生し、大町警察署山岳救助隊、北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会救助隊が出動し、救助しました。</p>						
2月18日	北アルプス 白馬乗鞍岳	女	55	負傷	転倒	5人パーティでバックカントリーを滑走中、転倒、負傷
<p>2月18日、5人パーティで北安曇郡小谷村の白馬乗鞍岳天狗原付近において、バックカントリーをスキーで滑走中の女性(55歳)が、転倒して負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、捜索を行いました。翌19日、大町警察署山岳遭難救助隊、警察本部山岳遭難救助隊及び北アルプス北地区山岳遭難防止対策協会救助隊が出動して、救助しました。</p>						
2月19日	北アルプス 上高地	男	48	負傷	雪崩	5人パーティで大正池付近を下山中、雪崩に巻き込まれたもの
<p>2月18日に5人パーティで松本市安曇の上高地にアイスクライミング目的で入山した男性(48歳)が、翌19日、下山中に雪崩に巻き込まれ負傷する山岳遭難が発生し、松本警察署山岳遭難救助隊が出動して救助しました。</p>						

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日～2月19日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	29	5	2	13	17	37	20
内)単独登山	11	1	0	4	6	11	5
内)バックカントリー	10	3	2	3	7	15	8
令和4年(2022年)	19	3	0	6	16	25	9
前年同期比	+10	+2	+2	+7	+1	+12	+11
内)単独登山	+5	+1	±0	+4	±0	+5	+5
内)バックカントリー	+4	+2	+2	+2	+1	+7	+6

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～2月19日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	1	3.4%	0	0	1	0	1
	後立山	7	24.1%	2	2	4	3	11
	その他	3	10.3%	0	0	1	2	3
	計	11	37.9%	2	2	6	5	15
中央アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0	
南アルプス	1	3.4%	1	0	0	0	1	
八ヶ岳連峰	9	31.0%	1	0	4	7	12	
その他の山岳	8	27.6%	1	0	3	5	9	
計	29		5	2	13	17	37	

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～2月19日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	6	20.7%	1	0	5	0	6
転倒	6	20.7%	0	0	6	0	6
病気	2	6.9%	0	0	0	2	2
道迷い	4	13.8%	0	0	0	5	5
落石	1	3.4%	1	0	0	0	1
雪崩	3	10.3%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	4	13.8%	0	0	0	7	7
不明・他	3	10.3%	0	2	0	2	4
計	29		5	2	13	17	37

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～2月19日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	0	0	13 44.8%	0	0	0	0	0	4 50.0%	0	17 45.9%
20代	0	0	1	1	2		0	0	0	1	1		3	
30代	3	2	4	2	11		1	0	0	2	3		14	
40代	1	0	1	3	5	10 34.5%	0	0	0	0	0	2 25.0%	5	12 22.4%
50代	0	0	3	2	5		0	0	1	1	2		7	
60代	0	0	0	3	3	6 20.7%	0	0	0	1	1	2 25.0%	4	8 21.6%
70以上	0	0	2	1	3		0	0	1	0	1		4	
計	4	2	11	12	29		1	0	2	5	8		37	
比率	78.4%						21.6%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jpまでお寄せください。